

平成 27 年度第 1 回伊賀市図書館協議会会議録

日 時 平成 27 年 8 月 21 日（金） 10:00～11:30

場 所 上野図書館 2 階 視聴覚室

出席者 清水祐子 水口廣子 松田昌子 石橋広保 山口篤子 和田好美
高倉一紀 稲ヶ部明香 吉井和美 常喜幸子
伊室教育次長 上野図書館：立山・森・岡本 いがまち図書室：中原
島ヶ原図書室：森嶋 阿山図書室：服部 大山田図書室：若出
青山図書室：居附

内 容

○ 図書館協議会委員 委嘱状交付

1、伊室教育次長 あいさつ

2、会長・副会長等の選出について

互選により選出

会長 高倉一紀氏

副会長 清水祐子氏

伊賀市生涯学習推進委員会委員 常喜幸子氏

伊賀市子ども健全育成施策検討委員会委員 吉井和美氏

高倉会長 あいさつ

3、協議事項

(1) 平成 26 年度図書館事業実績について

(事務局より資料 1 により説明)

主な質問・意見

委員：年々、企画がおもしろくなってきているように思う。楽しみにしている。

(2) 平成 27 年度図書館事業について

(事務局より資料2により説明)

主な質問・意見

委員：ふるさと応援寄付金活用で児童書の充実を計画しているとのことだが、どのぐらいの予算を見込んでいるのか。

事務局→上野図書館では100万円を予算要望しています。これから議会で審議されますが、内容としては、学校で第3土曜日に行う授業の中に読書の時間がありそれを支援するため、団体貸出用の学年に応じた図書を取り揃えて、各学校を循環するセット文庫にする。また、分館図書室でも100万円要望しています。こちらは、高価で日頃はなかなか購入しにくい大型絵本や郷土に関する図書を購入して、ふるさと応援寄付金で購入した図書であることが分かるようゴム印をする。また、応援寄付金で購入したことを周知するコーナーを一定期間設けて寄付金の活用のPRも行う予定である。

委員：職員のスキルアップを考えているというが、具体的にはどのようなことを考えているのか。

事務局→県立図書館の人事交流的な研修がありそれを利用させていただく。また、県立で行われる研修に参加していきたい。

会長：県立図書館で実践的な研修をさせてもらうことはいいことだ。県立は市町の図書館を育てることも使命のひとつである。

4、その他

伊賀市新図書館基本計画答申版 概要説明
(事務局より説明)

会長：新しい委員さんが多数おられるので、説明をしてもらったが、新しい委員さんに関心を持っていただきたい。

こういうプロセスを経て、伊賀市では様々な形で図書館問題が展開している。

少し補うと、図書館の管理運営計画については、民間活用の検討

とありますが、どこでその検討をするのかになるが、その検討の重要な役割を担う場としてこの図書館協議会があることになっていきます。私達自身がしっかりと考えていかなければならない。

市民が図書館をつくっていくことが一番大事です。先進的な地域では、図書館づくり運動はどこでも市民が中心になっている。津市の図書館でも小さな子どもを持つお母さんが活躍して図書館ができた。

伊賀市においても、市全体でそういう雰囲気を出し出すことが重要になる。皆さんのお力を貸して欲しい。どんな図書館にするかも大事だが、図書館が本当に必要なのか、基本的なところから、伊賀市民が納得していく、その上で、みんなが図書館づくり運動に参加するそんな形を少しずつでもつくっていければいい。委員の皆さんのお力が必要になる。

「明日の伊賀市図書館を考える会」立ち上げ記念勉強会 (事務局より説明)

会長：様々な考えを持った人が考える会を立ち上げた。伊賀市にこういう動きがでてきたことは非常に期待をしています。まだ、双葉を出したところですが、育てていく、そしてより多くの人たちといっしょに考えることが大事である。様々な視点から図書館を見つめる人が集まることが大事である。いつかは修練されてひとつのみんなの力になっていくという健全な形で考える会が育っていったらいい。私も協力することになった。

委員の皆さんも9月1日と10日の2つの勉強会どちらにも参加して色々と考えて欲しい。

会長：図書館協議会について図書館法に基づいて設置されている。役割は、館長の諮問に応える。図書館運営について提言するという2つがある。図書館協議会の存在意義がそこにある。

会長：これをもって協議会を終了する。

伊室教育次長：協議会審議に対するお礼

「明日の伊賀市図書館を考える会」立ち上げの経緯を説明し、勉強会への参加を依頼する。

午前11時30分 終了